

みなさん、こんにちは中村です。お元気でご活躍のことと思います。紅葉舞い散り、もうすぐ立冬ですね。心も身体も暖かくして迎えましょう。さて、海外で活躍している選手の近況をご紹介します。ドイツブンデスリーガは31日に試合が行われ、香川真司が所属するドルトムントはアウェイでマインツと対戦し、2対0で勝利。先発出場しチームの首位浮上に貢献する。ロシア・プレミアリーグでCSKAモスクワの本田圭佑は後半から途中出場、敵地でサトゥルン・モスクワと1対1で引き分け。イタリア（セリエA）で長友佑都の所属するチェゼーナはホームでサンプドリアに0対1で敗れ、チームは6戦連続で白星がなく、降格圏内の18位に後退した。森本貴幸がいるカタールはホームでフィオレンティナと0対0で引き分け。厳しい環境の中で頑張っている選手達に拍手を贈ります。

～経営事項審査の審査基準の改正～

ペーパーカンパニー等による不正な高得点の取得を防止するなど、企業実態をより公正・適正に評価できるようにする、再生企業に対する批判や審査項目の充実に対する多様なニーズへの対応といった目的から、経営事項審査の審査基準の改正が10月15日に公布され、平成23年4月1日より施行されることになりました。

改正内容は、下記の4点となります。

1. 技術者に必要な雇用期間の明確化

○技術者の名義借り等の不正を防止するため、評価対象とする技術者を「審査基準日以前に6ヶ月を超える恒常的雇用関係にある者」に限定する。

○高齢者雇用安定法に基づく継続雇用制度対象者については、雇用期間が限定されていても評価対象に含める。

2. 完成工事高の評点テーブルの上方修正

○建設投資の減少により平均点が低下している完工高（X1点）及び元請完工高（Z2点）について、今年度の建設投資見込額のもとで平均点が制度設計時の平均点700点となるよう評点テーブルを補正し、全体としてバランスのとれた評価を行うとともに、適正な入札機会を確保する。

この措置により、完工高（X1点）は平均点で約12点の上昇、元請完工高（Z2点）は平均点で約91点の上昇となる。

3. 再生企業に対する減点措置

○債権カット等により地域の下請企業等に多大な負担を強いた再生企業（民事再生企業及び会社更生企業）について、社会性等（W点）の評価で、以下の減点措置を創設する。

・再生期間中（手続き開始日から手続き終結決定日まで）は、一律マイナス60点の減点

・再生期間終了後は「営業年数」評価はゼロ年から再スタート

この措置は、平成23年4月1日以降に民事再生手続開始又は階差公正手続開始の申立てを行う企業から適用。

4. 社会性等（W点）の評価項目の追加

○建設機械の保有状況

地域防災への備えの観点から、建設機械抵当法に規定する「建設機械」のうち、災害時に使用される代表的な建設機械（ショベル系掘削機、ブルドーザー及びトラクターショベル）について、所有台数に応じて加点評価を行う。（一台につき1点、最高15点）

なお、建設機械のリースが増えてきている現状を踏まえ、経審の有効期間（1年7ヶ月）中の使用期間が定められているリースについても、同様に取り扱う。

○ISOの取得状況

多くの都道府県等が発注者別評価点で評価しているISO9001及びISO14001の取得状況について、受発注者双方の事務の重複・負担の軽減を図るため、経審の評価項目に追加する。（片方で5点、両方で10点）

建設業Q&A

Q. 同一都県内にある支店で建設業を営む場合、大臣許可にしないのはならないの？

A. 同一の都県内に支店がある場合は、すでに持っている都県の知事許可のままで、営業所の新設の変更届を提出すれば支店でも建設業を営むことができます。この時、支店代表者である「建設業法施行令第3条に規定する使用人」と「専任技術者」を支店に置く必要があり、本社と同様にそれぞれの常勤性や、技術的裏づけの資格、経験などを証明する必要書類が必要となります。（島根）

野菜の保存方法

これからは鍋がおいしい時期です。その鍋に入れる野菜もなるべく鮮度がいいものを使いたいものです。そこで、野菜の保存方法をご紹介します。

かぶ、セロリ、大根、にんじんなど葉がついたまま売っている野菜は、そのままにしておくと葉が水分や養分を吸い取ってしまい、うまみも減ってしまうので、買ってきたらすぐに葉を根本から切り落とし、身と分けて保存します。

白菜は新聞紙に包んで、冷暗所に立てて保存すれば1ヶ月以上は長持ちします。さつまいも、長芋、里芋などの芋類、かぼちゃ、アボガド、泥つきごぼう、たまねぎ等の野菜は、低温に弱いので冷暗所で保存します。（島根）